(議事の要旨)

開始 14時01分

[西田委員長]

ただいまから、平成28年度第10回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名は、岡本委員にお願いいたします。

本日の案件は、議案2件、報告事項1件です。

なお、議案第46号及び議案第47号は公開しない会議とし、会議の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認め、議案第46号及び議案第47号は、会議規則第12条の規定により公開しない会議として、会議の最後に審議します。

[西田委員長]

それでは、議事に入ります。

報告事項第22号・平成28年第4回日野市議会定例会の報告、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第22号 平成28年第4回日野市議会定例会の報告

[兼子庶務課長]

報告事項第22号・平成28年第4回日野市議会定例会の報告、を申し上げます。

会期は、11月30日水曜日から12月16日金曜日の17日間で行いました。

一般質問です。質問者21名、うち教育委員会関係が10名、質問件数43件、うち教育委員会関係が13件で行いました。要旨等については別表1のとおりでございます。

議案です。市長提出議案29件、議員提出議案はございませんでした。うち教育委員会に関するものは1件でございます。

一つ目、平成28年度日野市一般会計補正予算でございます。可決をされております。

補正総額、歳入歳出とも17億5,752万7千円、うち教育費が2億5,754万4千円でございます。予算総額は、歳入歳出とも661億4,739万6千円、うち教育費が82億4,789万7千円で行いました。内訳については別表2のとおりでございます。

なお、請願について、教育委員会に関するものはございませんでした。

説明は以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了しました。ご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。岡本委員。

[岡本委員]

別表1に関して、よろしいでしょうか。

別表にもありますように、教育予算については我々も市長部局とも随分、議論をさせて

いただいております。厳しい市全体の予算の中にもかかわらず、教育環境整備に尽力していただいております、というのが私の認識ですが、質問にもありましたが、教育投資について日野市は三多摩地区で、どのようなレベルになっているのか、少し詳しくご説明いただければありがたいです。

[岡野教育部長]

1 2月議会の一般質問に関連して、別表の中に三多摩最低レベルの教育予算云々という件名の中で、幾つか質問された部分もございます。その辺を踏まえて、お話をさせていただきたいと思います。

今回の議会一般質問の中では、趣旨としては教材費、学校で子供たちが必要とするドリルといったものを購入する際の教材費、学校徴収金として一般家庭保護者が、どれくらいの負担をしているかといった部分、それに踏まえてそこを無償化できないか、といったことが質問の趣旨でありました。

件名の中に、三多摩最低レベルの日野の教育予算という表現がございましたので、通告という形ではなかったのですけれども、私のほうから答弁の冒頭、「通告質問の件名に三多摩最低レベルの教育予算とされておりますが、決してそのようなことはございません。学校生活、あるいは学習活動を進めていく上でメインとなる管理用の備品、消耗品あるいは教材用の備品、消耗品の平成28年度の当初の予算レベルについて調査したところ、小・中1校当たりの26市の平均額が1,247万4千円でございます。それに対して、日野市が1,307万円ということで平均は上回っておりまして、26市の中では12番目に位置するということで、標準よりもやや上といったところで、通常の子供たちのための教育費という、かけ方をしております」と、お話しさせていただきました。

ただ、いろいろな資料の中で、例えば、ある年度に各市が教育費にかけた予算という、総額の資料となりますと、市によっては学校を建設するために用地を購入した、あるいは校舎を建てるために工事をしたなど、莫大な数字が出てくる年がございます。ある年度を捉えたときには、ある市においては、そのような経費が含まれた中で1校当たり、これくらいの教育費がかかっています、というような資料も当然出てきます。そのようなところを捉えたときに、日野市において、その年に用地取得であったり、学校建設等をやっていない場合については、当然1校当たり1人当たりにかかる金額というのは低くなってきてしまいますし、二中を建設したような年度であれば、その辺が入ってくるという部分があります。

そのような年度において、経常的でない数値を取り入れたときには、高く出てきますけれども、経常的にどれだけ予算をかけているか、といった部分については委員の皆様、議員の皆様からも市長への要望であったり、ご意見であったりといったことも踏まえる中で、三多摩の平均よりは上の予算措置を、継続して確保しているところでございます。

また、日野市では先行的に、他市に先駆けて前もって整備が終わっているような部分といったものもございますし、ここから先、他市が遅れて整備をするようなものについては、既に終わってしまったという部分もあると思います。一概に比較は難しいですが、先ほど言ったように、経常的に子供たちにかかるお金については、それ相応の措置をしていると考えております。

[西田委員長]

高木委員。

[高木委員]

一般質問の中で家庭訪問の実施について質問があり、答弁として各学校における家庭訪問の実施の方向で進めていきたい、と答弁されているわけですが、一つは、現状の家庭訪問の実施状況、それから具体的にどのように進めていかれるのか、現状での考え方をお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

[記野教育部参事]

家庭訪問についての現状と、今後どのように進めていくかという、ご質問でございます。

現状としては、各学校の実態に応じて、中学校、小学校、実施しているところで、校数的には少ないところではありますが、工夫をして学期の初めに、家庭訪問とまでは行かないですけれども家まで行って、玄関先で話を聞いてくるということをしている学校もございます。

そこで、来年度に向けまして家庭訪問ということで今回、質問をいただきました。その中で家庭訪問を実施する意義ということ、私のほうで答弁をさせていただきました。

それについては、子供たちの家庭や地域での姿を確認するという、そして学校のみならず、地域や家庭を含めた子供たちの姿、背景、環境を理解した上で教育活動の充実を図ることが大事であるということ。

また、防犯、防災の観点から、災害時の集団下校あるいは引き渡し訓練など、学校が子供たちの生活する地域や家庭を理解することは必要である。そして教員にとりましても、多様な家庭や育ちを理解した上で、子供たちが学ぶこと、あるいは教員も学ぶということによって、教員としての意識を高めることにもつながるということで、この12月に各学校長に宛てて通知を発し、また各学校の授業時数の確保や、あるいは方法については工夫を重ねて来年度、一つ一つ課題をクリアしながら、家庭訪問を実施していくということを考えています。

[高木委員]

来年度というのは、平成29年度実施という理解でよろしいですか。

[記野教育部参事]

平成29年度より実施という方向で、ただ、段取りにつきましては、授業時数の確保や方法については各学校の実情、現状等に応じて、多分、各学校の家庭の状況も様々であると思いますので、その辺を校長として鑑みながら、何らかの形で実施していくということで取り組んでまいります。

[高木委員]

わかりました。非常に重要な案件だと思いますので、是非、生徒自身ですとか保護者の皆さんに必要性なり、やる意義を十分理解いただいた上で進めていただければということで、お願いしておきたいと思います。

[西田委員長]

濱屋委員。

[濱屋委員]

一般質問の中に図書館司書の充実についてありますが、その回答の中で、学校図書館検討委員会の中で議論を進めている、とあります。日野市型の学校司書の役割とか、あるいは専門性をまとめるに当たって、これまでどのような議論がされてきたのか、ということをお教えいただけますか。

[記野教育部参事]

学校図書館検討委員会、平成27年度より設置をしまして、このメンバーとしまして、小・中学校の校長の代表、教員の代表、そして市立図書館の職員をメンバーにさせていただき、日野市型の学校図書館のあり方について議論してまいりました。

委員の中から出てきた内容としましては、本との出会いや誘い、わくわく感の広がり、本を読まない子へのアプローチ、そして本だけではなくて、音声、映像資料を通じた知的創造活動について、学校図書館にほしいICTツールやデジタル資料、授業でも使える電子資料、子供たち発の取り組みとして児童・生徒がつくる学校図書館などについて議論を深めているところです。

そして、それらの議論を踏まえまして、現在、昨年末12月に、全小・中学校の教員を対象にアンケートをとらせていただきました。学校図書館に関する意見のアンケートということで、今申し上げました「このようなアイデアが出ました」ということで、各委員から出てきた意見を載せたものを、各学校の教員全員に配布したところで、その中で授業に活用できる学校図書館、子供たちにとって魅力的な学校図書館、学校図書館スタッフに望むことで、今まで教育課程で実践してきたことや、子供たちを読書好きにするための工夫を何かしていますか、という自由記述の方式で意見を出してもらいました。

今、その集約に当たっているところでして、様々な多くの意見を寄せていただきました。特にスタッフに関して一番多かったという感じがするのは、人としての温かみのある人が学校図書館に来てほしいという意見が何件か、多く見られました。今、この意見を集約しまして、日野市型の学校図書館の提案をしていきたいと説明したところです。

[西田委員長]

岡本委員。

[岡本委員]

生涯学習関係でよろしいですか。1に関連してですけれども、今までも日野市にある資源の活用、これにつきましては、例えば郷土資料館等が市民の皆さんの協力を得て、随分活発に活動されておられます。そこで最近の具体的な事例を紹介していただければありがたいと思いますけれども、よろしく申し上げます。

[清野郷土資料館長]

郷土資料館で行われている市民の方との協働という形で、その事例等ということでお話しいただきました。

昨年秋に行われました特別展、真慈悲寺の特別展を行いました。入場者数は3,500人、今までの特別展の中では最大の見学者を数えることができました。

真慈悲寺、瓦が出土してから20年以上経っております。その中で、やはり1人の目で見るとは市民の方との協働での調査、それが10人、20人になれば、それこそ多くの目で、あらゆるものを見ているものと感じております。今回、真慈悲寺が百草の地にあっ

たということを、ともかく証明するということで、いろいろな遺物、または調査成果、または市民の方々が歩き回って、その中で得た成果を表わすといった特別展を開催することができました。その意味では、真慈悲寺は確かに百草の谷を中心とする所にあったということをお話することができたと考えております。また、それを今後、日野の郷土史の1ページを飾る、その意味での歴史として語り継いでいかなければならないということが郷土資料館、また市民と協働での仕事ではないかと思っております。

[西田委員長]

ほかにございませつか。

[西田委員長]

なければ、報告事項第22号を終了いたします。

[西田委員長]

これより議案第46号及び議案第47号の審議に入りますが、これらの案件につきましては公開しない会議といたしますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思ひます。異議ございませつか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。関係職員以外の事務局説明員は退席してください。なお、本件の終了をもって、平成28年度第10回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係職員以外退室)

「教育委員会職員の分限休職の専決処分について」

「日野市立学校教員の措置について」

は公開しない会議の中で審議。

[西田委員長]

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。これにて平成28年度第10回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 14時23分